

広報 いいで

3

山形県 14, March
2013
Vol.1032



お約束をしっかりと守って
「こうつうあんぜん」

添川児童センター「かもしかクラブ修了式」
で、あいさつをする添川児童センターかも
しかクラブリーダーの佐原雄子さん。
佐原さんは今年度の「町かもしかクラブ協
議会」会長でもあります。

- 03 特集◎農都交流型ツーリズム
農山村地域と都市型企业をむすぶ新しい旅のかたち
- 08 こどもみらい館の利用者5万人を超える
にぎわい茶房協力店募集
- 09 転入・転出の手続き
平成25年度広報いいで定期購読受け付けのお知らせ
- 10 まちかどNEWS
スノー・スマイル／応急手当普及員再講習会／第2回つばき雪あかりの路(みち)ほか
- 12 スナップショット
- 13 がんばりの軌跡
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 ようこそ！わたしたちの倶楽部に／町長の見て歩き
- 17 健康ikiiki プラス
- 18 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 20 町宝いいで ～中村原土壇～

町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。
大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。
どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



www.town.iide.yamagata.jp



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

今月の

表紙

みんなで守ろう交通ルール



3年間交通安全を学んだ年長組さんに、修了証が手渡されました

2月7日から26日にかけて、町内5つの幼児施設で「かもしかクラブ修了式」がありました。同クラブは、幼児の交通安全教育を担う大切な組織。中心となって活躍するのはリーダーのお母さんたちです。どの園も趣向を凝らした記念品や修了証などが準備され、4月から小学校へ通う年長組の園児に贈られました。佐原さんは「学んだことを守って、安全に登校してください」とあいさつされていました。

特集◎農都交流型ツーリズム



写真/昨年10月10日から12日まで行われた。企業モニターツアーの様子。

農山村地域と都市型企業をむすぶ新しい旅のかたち

多くの農山村は、過疎・少子高齢化、農林業の担い手不足、経済の衰退などの課題を抱えています。それらの解決法の一つとして、都市との交流事業を行っている自治体や地域があります。交流人口の増加によって、経済を活性化し地域に活気を生み出そうとするものです。

今年度、町では新たな視点に立った都市との交流事業を進めています。その事業内容や実施状況をお伝えします。

農都交流型ツアーリズム

農都双方が持つ資源で課題解決を図る

町は、総務省の「過疎地域等自立活性化推進交付金事業」の採択を受け、㈱JTBコーポレートセールス（大手旅行会社JTBの子会社。旧・㈱JTB法人東京）と共同で、都市型企業や教育機関向けの人材育成・研修プログラムを開発しています。

コンセプトは、「農山村地域を舞台として、農山村が抱える課題と都市型企業が抱える課題を、農都双方が持つ資源で解決を図る」。企業や大学が、人材育成・研修として、町内に滞在して農業や農山村の暮らしを体験するものです。



建設会社、IT企業、保険会社など15社から、人材育成・研修担当部局などに所属する25名が参加したモニターツアー（10月）。

都市との交流

すでに、農業体験や農山村の暮らしなどを素材とした旅行商品や農山村体験プログラムは、グリーンツアーリズムや都市と農山村の交流などの呼び名で、全国的に存在しています。

農山村側では、「人・もの・情報」の活発な往来による経済効果や交流人口増加によるにぎわい、地域文化の再評価などを期待したものです。都市住民は、都会では味わえない体験や人と人の触れ合いによる癒しを求めて農山村を訪れています。

既存交流との違い

これまでの交流プログラムとの大きな違いは2つです。一つは、相手（ターゲット）を不特定多数ではなく都市型企業と教育機関に定めていること。もう一つは、農山村も相手も双方が抱える課題を認識し、その解決を図る意識を持ってプログラムに関わることです（次ページ「イメージ図」）。

従来の、不特定多数をターゲットとする交流プログラムでは、相手が真に求めるもの（ニーズ）の把握も困難。そのため滞在メニューの開発やプロモーションに苦慮していました。そのような現状では、農山村側

は選ばれるために、時として、過度なもてなしや低姿勢に陥る危険性をはらんでいます。

一方、開発中の交流プログラムは「都市型企業（教育機関を含む）にとって、飯豊の暮らしや住民との交流が研修の場となり人材育成に生かせる」との考えから取り組まれています。

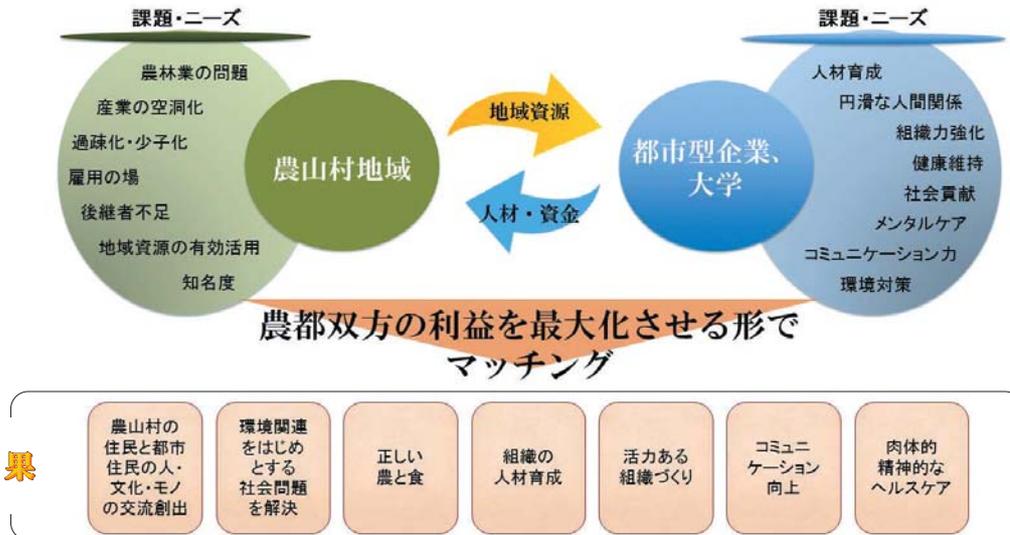
農山村に過疎・少子高齢化などの課題があるように、都市型企業や若者も課題を抱えています。人間関係の疎遠、世代間交流の不足や体験・経験不足に端を発した、コミュニケーション力の低下や早期の離職、想像力・創意工夫力の貧困などです。これらの課題は、個人の人生の質を低下させるだけでなく、人の集合体である企業や教育機関にも影響を及ぼします。

企業や大学は、実践的でより効果的な人材育成・研修の実施を迫られています。

取り組み状況

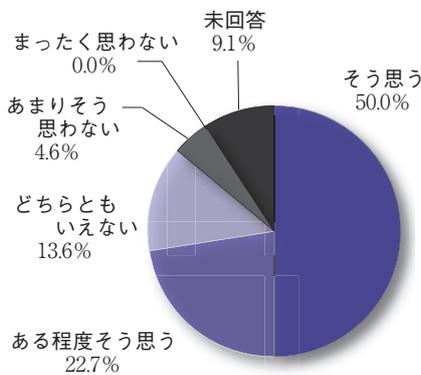
今年度は、交流プログラムの実証・検証、磨き上げとして次のツアーを実施しました。昨年6月に㈱JTB法人東京の社員研修（40名参加）、9月に埼玉県内の大学で経営学を学ぶ大学生のモニターツアー（30名参加）、10月に首都圏の企業の人材育成・研修担当者などを対象とし

● 農都交流型ツーリズムのイメージ図

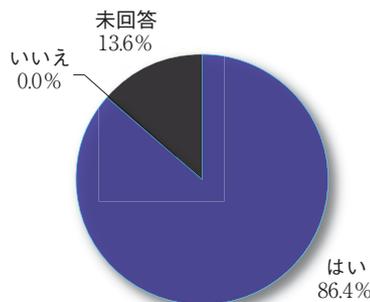


● 企業向けモニターツアーアンケート結果（抜粋）

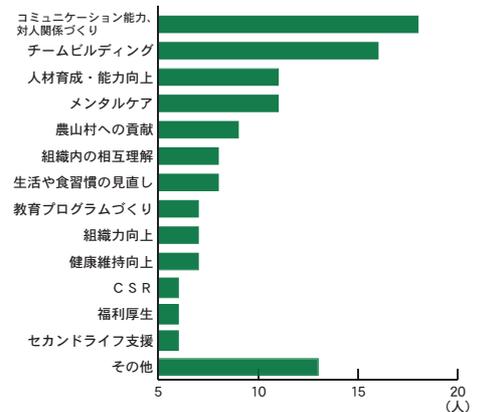
Q：地方衰退の抑止・歯止めにも、都市型企業などが力を貸すことは必要ですか



Q：所属組織が抱える何らかの課題を、本ツーリズムが解決に役立ちますか



Q：その課題とはなんですか



たモニターツアー（16社・25名参加）、今年2月に首都圏の大学生を対象としたモニターツアー（6大学・15名参加）です。6月の（株）JTB法人東京は、旅のプロとして、プログラム素材探しと、それらを用いたプログラムづくりの実習を兼ねて来町。そして、ツーリズムにおいて、地域資源をどのように活用することが、農山村振興と企業メリットに結び付くかを考え、終日に中間発表を行いました。10月の企業社員によるモニターツアー。彼らの目的は、飯豊町が人材育成・研修ステージとして適しているかを検証するため。最終日に行われた意見交換会で、モニターから「コミュニケーションが苦手な社員が増加している。共同作業などを通して時間と空間を共有することは、無意識に会話を生み出す」などの意見が出ました。

改善点も挙げられました。細部にモニターニーズとズレがあるとの指摘。施設見学時間の長さや体験後の片付け時間の少なさ、盛り込み過ぎた体験メニューなどです。修正を加え、町独自のプログラムとして完成に近づけることを求められました。今年2月の大学生によるモニターツアー。プログラムの実証・検証のほか、若者による冬

の農山村の魅力発見と、学生特有のコミュニケーションや交友による情報伝達の連鎖を見込んで行われました。大学生は1週間滞在し、中津川雪祭りの準備・運営に協力。地域行事に長期間かかわることは、多くの住民との深い交流を生み出します。最終日の交流会で地域の方から「長期滞在によって地域に活気が生まれた。若者の視点と行動力によって祭りがさらに充実した」との感想が聞かれました。

見えてきた課題

東京近郊にも農山村は存在します。「なぜ飯豊町か」と問われた時、企業や教育機関が納得する答えを提示できなければ、来町には至りません。「飯豊だからこそ」を、客観的・具体的に把握し、ターゲットが受け取れるように情報発信することが必要不可欠です。さらに、町は、プログラムの骨格である「農山村と都市双方が持つ資源で双方の課題解決」の効果を高め、継続的に実施するには、受け入れ地に核となる人材が必要と考えています。今後、事業をけん引する人材の育成を視野に入れ、事業を推進します。

◎ 取り組みの様子

プログラム開発の過程で実施した実証・検証ツアーの様子をお伝えします。さらに、ホームページ「いいで体験型ツーリズム」に動画を交えて掲載しています。 <http://iide-taiken.iikanjini.com/>

- ・ 昨年6月 (株)JTБ法人東京の社員研修
- ・ 昨年10月 人材育成・研修担当者モニターツアー
- ・ 今年2月 大学生によるモニターツアー



企業モニターツアー

プログラム趣旨の説明。モニターと地域住民の意識を統一し、プログラム効果を高める



企業モニターツアー

サトイモ掘り体験。共同作業は自然な会話を生み出し、共に汗を流すことで体験者の連帯が深まる



㈱JTБ法人東京社員研修

耕作放棄地の開墾。草地の緑色が土色に変わる。目に見える活動の成果に参加者の士気が上がる



企業モニターツアー

プログラム体験後の意見発表会。意識の高いモニターの的を射た意見がプログラムを磨き上げる



㈱JTБ法人東京社員研修

共同作業後の昼食。メニューは笹巻、クジラ汁、石窯ピザ

■ インタビュー

INTERVIEW

Ito Hiroyasu

人事・研修部局所属

伊藤 浩康 さん

◎ モニターツアーに参加して

参加動機はいくつかあり、社員研修・人材育成を農山村で行うことの有効性の検証や企業の社会的責任として都市と農山村をつなぐ手法や素材採しなどが主なものです。

弊社のメイン顧客層は、60代から70代。核家族で育った若手社員は、高い年代の方々と接する機会が少なく、コミュニケーション力の強化が急務。また、都会で暮らし働いていると、経験や見分が都会内で完結しがちです。そのような生活では、気付けられないことや経験できないことがたくさんあると感じていました。

顧客に喜んでいただけるサービスを提供できる社員を育成するには、都会とまったく異なる環境で、多様な経験を積み、世代を超えて密に人と交わることが必要と感じていました。

訪町前は、飯豊町をほかの農山村と一括りに捉えていましたが、訪れて驚きました。明らかに他の農山村と違いました。それは、皆さんの意識です。会う人会う人が、地域の未来を考えて本気で農都交流事業に取

INTERVIEW

■インタビュー

◎受け入れの現場から



株緑のふるさと公社・専務

Ito Kouichiro 伊藤浩一郎さん

緑のふるさと公社は、中津川地内の宿泊施設や公園などの観光施設を管理運営しています。

数年前から農山村での暮らしや農林業体験、住民との交流などが新たな観光資源として評価され、ここ中津川にも、それらを目当てに、多くの方に来訪いただいています。しかし、そのような観光資源は、全国の多くの農山村に存在し、中津川への強烈な誘客素材にはなりづらいものです。今年度取り組んでいる農都交流型ツーリズム事業の「農山村で企業研修・人材育成」は、全国的に見ても先駆的な観点だと思います。モニターの方々には、おおよそ

好印象を持ってもらえたと感じています。それは「地域で受け入れる」の姿勢で取り組んでいるからだと考えています。人にはそれぞれに持ち味や強みがあります。それぞれの良さがうまく組み合わせられた地域が、都市型企業が求める効果を生み出し、研修・人材育成の舞台に成り得ると思います。地域での受け入れを可能としたのは、ここでの暮らしにあると思います。共同で作業や行事を行うことの多い中津川では、常に住民同士が会話を交わし、人と人との

深いつながりが生まれ、「共に生きる」の気持ちがあはぐまれます。そのような地域の子どもたちは、地域への愛着を深めながら成長し大人になります。それが、日々繰り返されている中津川の暮らしです。中津川の人々がふるさとのために協力することは自然なことです。中津川だからこそその「地域で受け入れる姿勢」を生かした都市型企業との交流に、今後の大きな可能性を感じています。



大学生モニターツアー

さいぞう笑いの木にワラを巻きつける大学生。会場の準備が進むに連れ、「人の役に立つ」ことを実感



大学生モニターツアー

前日宿泊した農家民宿の方と談笑。1泊で心の距離を縮める農家民宿



大学生モニターツアー

メインステージ上で即興のかくし芸(歌と踊り)を披露。学生の臆することのないエネルギーが雪祭りを盛り上げる

り組んでいました。農家民宿に宿泊した時、家主から「どうしたら地域がもつとにぎわうか」について意見を求められました。地域への熱い思いを感じました。「ここまで本気の町はどこにもない」と、私は自信を持って言えます。課題は飯豊までの距離。対応が必要だと思います。企業が行動を起こすには、トップダウンが近道です。来年度、社長を連れて飯豊に行きます。皆さんの本気を、どんどん社長にぶつけてください。きつと社長にも届くはずですが、皆さんの熱い思いと、飯豊町で行う企業研修の有効性が。



祝 おかげさまで5万人

こどもみらい館

2月13日、こどもみらい館の利用者数が、延べ5万人を超えました。

同館は、平成18年6月にオープン。子育て支援センターと自由来館型の児童館の機能を併せ持つ施設です。

広さ60畳の遊戯室やプレイルームには、子ども用の滑り台やジャングルジム、安全な玩具がそろい、0歳児から利用できます(未就学児は保護者と一緒)。催しも多彩で、ひな祭りや七夕などの年中行事、栄養士や保健師などを招いた学習会、リトミック(音楽教室)やエクササイズ教室などを行っています。

また、保育経験豊富な職員が常駐し、誰でも気軽に

子育て相談ができます。

5万人目の利用者となったのは、島貫嘉郎さんと琉嘩ちゃん親子(菖生)。大きくす玉が割られ、佐藤晴樹町教育長から記念品として、絵本とフォトフレームが贈られました。島貫さんは、「同年代の子どもと一緒に広い遊戯室で伸び伸びと遊ばせることができる。先生方の対応も親切で、安心です」と同館の魅力を話してくださいました。



利用者の様子



60畳の遊戯室



「あ〜す」 こどもみらい館

開館日	火曜日～土曜日 祝日・年末年始を除く
利用時間	8:30～12:00 13:00～17:00
利用料	無 料
電話	72-3336

にぎわい茶房 協力店募集

町民の方や町に訪れる方が気軽に飲食できる場所と、もてなしを提供する「にぎわい茶房」の協力店を募集します。

◆協力内容

- ①町民や町に訪れる方が集う場所の提供
- ②「にぎわいメニュー」の提供
※メニューは、協力店にお任せします
- ③町が支給する「にぎわい茶房」の「のぼり旗」と「ウェルカムボード」の設置
- ④町民または町に訪れる方への様々な情報提供

◆協力期間

平成25年4月～平成26年3月

- ◆協力料/茶房として運営した日のうち利用者があり、もてなしを行った日。1日につき700円。

※もてなしを行わなかった日は協力料の対象日に含まれません

◆応募資格

- ①町内において飲食業または小売業などを営んでいるか、今後営む見込みがあること
- ②協力店の営業日のうち、1日2時間程度を「にぎわい茶房」として協力できること

◆募集要項など

募集要項や応募に係る書類は、下記にて配布します

※町ホームページからも入手できます

- ◆応募方法/必要書類を記入のうえ、下記へ提出してください

- ◆応募期間/3月25日(月)まで
土曜・日曜・祝日を除く8:30～17:00

◆申込・問合せ先/役場産業振興課プロジェクト推進室 ☎72-2111内線252



転入・転出の届け出をお忘れなく

—— 3月は引っ越しシーズンです。転入・転出など住所異動の届出手続きをお知らせします。 ——

主な手続きは下記のとおりです。個人によって手続きに必要なものが異なる場合があります。詳しくは「役場住民税務課住民室」までお問い合わせください。

転 入 届

町外から飯豊町に住所を変更するときの手続きです

- 届出期間／飯豊町に住み始めてから14日以内
- 手続きに必要なもの／印鑑、本人確認ができる証明書、[※]転出証明書、転入先の住所がわかるもの。
住基カード（お持ちの方）、在留カード（外国人の方）
※転出証明書…前住所地から転出届の際に交付を受けます

町 内 で 転 居

町内で住所を変更するときの手続きです

- 届出期間／新しい住所に住み始めてから14日以内
- 手続きに必要なもの／印鑑、本人確認ができる証明書、新しい住所がわかるもの、各保険証や医療証。
住基カード（お持ちの方）、在留カード（外国人の方）

転 出 届

飯豊町から町外に住所を変更するときの手続きです

- 届出期間／転出先が確定した後、引っ越しするまで
- 手続きに必要なもの／印鑑、本人確認ができる証明書、転出先の住所がわかるもの、各保険証や医療証。
住基カード（お持ちの方）、印鑑登録証（お持ちの方）

INFORMATION

役場住民税務課の窓口では、日中來れない方のために窓口延長を行っています。

- ◎ 窓口延長日／月曜日、金曜日の週2回（要予約）
- ◎ 窓口延長時間／午後6時30分まで
- ◎ 予約の受付／当日の午後1時まで下記へご連絡ください（受付は1週間前から）

届出・問合せ先◎役場住民税務課住民室☎72-2111内線120・122・123・124・127

広報いいで

public relations

〒999-0696 山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888 飯豊町役場総務企画課総務情報室
☎0238-72-2111内線225 FAX0238-72-3827 E-Mail i-soumujoho@town.iide.yamagata.jp

「定期購読」 「広報いいで」は、町外に暮らす皆さんにもお届けできます。

- ◆ 申し込み方法／電話、郵便、ファックス、Eメールにて申し込みください。住所・氏名・電話番号をお伝えください
- ◆ 定期購読料／2,200円（年12回。消費税・送料込）
※400円を追加して町議会報も購読できます
- ◆ 代金支払い方法／銀行・郵便局などの金融機関窓口などでのお支払い
- ◆ 配達方法／郵送にて指定の住所までお届けします

「縮刷版」 1954年から、町の話や出来事を記録してきた「広報いいで」の縮刷版です。

- ◎ 第1巻／1954年創刊号～1983年3月号
価格：3,300円（消費税・送料込）
- ◎ 第2巻／1983年4月号～1998年3月号
価格：4,000円（消費税・送料込）
- ◎ 第3巻／1998年4月号～2008年4月号
価格：4,000円（消費税・送料込）
- A4版・布製表紙・ケース付き ○ 各巻組み合わせでの販売も可 ○ 在庫が無くなり次第終了

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



スノー・スマイル

着実に広がる仲間の輪

2月3日、あ〜す屋外で、雪を活用した「スノー・スマイル」が行われました。「厄介者の雪を楽しみに変える」をコンセプトに、にぎわい再現プロジェクト委員会が企画し、今年初開催。委員会に加え、町内外の若者50名がスタッフとして協力し、雪上バレーボール、巨大雪滑り台、雪中宝探しなど多彩な催しが行われました。いいで未来号Ⅳの視察交流が縁で新潟県糸川市からも有志が駆けつけ、ご当地アイドルコンサートや、名物のブラック焼きそばが販売されました。



第2回つばき雪あかりの路

復興願う雪あかり



2月10日、椿地区で第2回目となる「つばき雪あかりの路」が行われました。地区の活性化と東日本大震災からの復興を願い椿区民会などが企画。地区内の自治会に、前回の倍の2千本のろうそくを配布し、住民や事業所などが沿道に雪壁の灯笼や雪ランタンを作り点火。メイン会場の白椿地区公民館駐車場に作られたひな壇状の雪壁の灯笼には、「つなぐ」の文字がろうそくの明かりで浮かび上がっていました。

応急手当普及員再講習会

応急手当を広めるために



2月3日、消防署飯豊分署で「応急手当普及員再講習会」が行われ、資格更新のため8名の応急手当普及員が受講しました。普及員とは、消防本部から資格認定を受け、一般の方に応急手当の知識・技能を普及することを任務とした方です。講習会では最新の心肺蘇生法・AED操作・異物除去法などの講義とともに、それらを一般人の方へ教授するための講義も行われました。なお、町内の普及員は43名です。



飯豊中学校野球部が高齢者宅で除雪ボランティア

チームワークで地域に貢献

2月16日、飯豊中野球部員、顧問、監督、コーチの20名が、椿地内の高齢者などの住宅3軒で除雪ボランティアを行いました。軒下や隣家との間などに積もった雪をスコップやスノーダンプで片付け、厚い氷をつるはしで砕きながら除雪作業を進めていました。窓をふさぐほど積もった雪も、チームワークを発揮して手際よく除雪。家主は「家の中が明るくなりました。これで安心して暮らせます」と、作業を終えた球児たちに、感謝の気持ちを伝えていました。

祖父母への感謝をこめた「お茶会」

おばあちゃん、どうぞ



2月20日、手ノ子幼稚園で祖父母学級が開かれ、和菓子職人と茶道講師の協力のもと「お茶会」が行われました。和菓子職人の手ほどきを受けて園児たちが茶菓子を手作り。茶道講師がたてた抹茶とともに、祖父母たちに振る舞われました。園児たちは、茶菓子と抹茶を祖父母の前に運び、正座をして差し出すと、両手を八の字にして深々とお辞儀。そのかわいらしいしぐさで和やかな茶会となりました。

中村文昭氏講演会

本気が人生を変える



2月17日、あ〜すで、町民有志による「中村文昭氏講演会」が行われ、約600人が聴講しました。中村氏は、拳式レストラン経営のほか、ひきこもりなどの過疎地就農や教育現場の活性化などを手掛けています。今回は出会いを生かす4つの鉄板ルールを経験談を交えて講演。講演後、「地域を元気にするには」と意見を求める中学生に、「子どもが動けば大人は動く。まず、あなたが本気で動いて」とエールを送った。

男の料理教室

男子厨房に入る

2月27日、健康福祉センターで「男の料理教室」が行われました。食生活改善推進員連絡協議会が企画し、毎年開催。町内から13名が参加し、ご飯とみそ汁、サバの竜田揚げ、野菜のベーコン巻き作りに挑戦。エプロン姿の参加者たちは、手順や分量をレシピで何度も確認しながら、丁寧に調理していました。初参加の鈴木信一さん(高峰)は「味付けが難しいが、家で作って家族に食べさせたい」と出来上がった料理を満足そうに味わっていました。



まちかど



スナップショット

「まちかどNEWS」で紹介しきれない地域のできごとを1枚の写真でご紹介します

2/2



太巻き作り
(中部地区公民館)

2/1



飯豊ライオンズクラブの協力による節分豆まき(町内幼児施設)

2/11



あ～すを拠点に活動する団体の協力による大掃除 (あ～す)

2/8



校舎をもした閉校記念品に未来の自分宛ての手紙を封入(飯豊分校)

2/5



県内市町村で唯一の「2012年飲酒運転検挙者ゼロ」表彰(役場)

2/18



なかつがわ農家民宿組合「台湾講座」
(中津川地区公民館)

2/17



鈴木二三子氏による「気象講演会」
(物産館)

2/16



読み聞かせ講習会
(あ～す)

2/24



東部地区ドッジボール大会
(添川小学校体育館)

2/22



山形県木炭品評会
(あ～す)

2/19



園芸振興説明会
(あ～す)



(敬称略)

◆町小学校スキー大会

◇大回転

【4年男子】

- ①宇津木奎俊(第一) ②鈴木琉生(同) ③伊藤唯(同)

【4年女子】

- ①鈴木麻奈(手ノ子) ②櫻井渚月(同) ③北宮光(第一)

【5年男子】

- ①國分睦生(第一) ②星祐吾(手ノ子) ③高橋彪牙(同)

【5年女子】

- ①小関杏実(手ノ子) ②鈴木蘭(同) ③寒河江愛梨(同)

【6年男子】

- ①館石雅葵(第一) ②横澤陸(添川) ③寒河江恭平(手ノ子)

【6年女子】

- ①加藤佳奈(第一) ②岡田実夕(手ノ子) ③伊藤瑞姫(同)

▽クロスカントリースキー

【4年男子】

- ①佐原澄斗(第二) ②山口和也(同) ③舟山晴斗(添川)

【4年女子】

- ①厚母穂花(第一) ②五十嵐袖衣(第二) ③井上千華(手ノ子)

【5年男子】

- ①舟山奏(第二) ②舟山颯飛(同) ③鈴木裕弥(第一)

【5年女子】

- ①大場羽奈(第二) ②青木優茉(第一) ③濱邊遥(同)

【6年男子】

- ①鈴木光(手ノ子) ②渡部怜央(第一) ③尾形達也(第二)

【6年女子】

- ①佐藤歩美(第一) ②小川りさ(第二) ③遠藤美鈴(第一)

【リレー男子】

- ①手ノ子小 ②第二小 ③第一小

【リレー女子】

- ①第一小 ②第二小 ③手ノ子小

◆町民スキー大会

◇大回転

【中学男子】①伊藤政也(高峰)

- ②宇津木拓海(中)

【少年男子】①小関大斗(手ノ子)

【成年1部】

- ①長岡秀幸(中) ②長岡幸希(同) ③國分充(萩生)

【成年2部】

- ①平山直樹(東部) ②鈴木純也(萩生) ③国分剛(同)

【成年3部】

- ①伊藤憲之(手ノ子) ②佐藤利浩(同) ③竹田一郎(同)

【中学女子】①国分ちづる(萩生)

【少年女子】①伊藤理沙(高峰)

【成年女子】①渡部由美子(中)

- ②島貫絵里(萩生)



▽親子大回転

【低学年】

- ①國分充・逸生(萩生) ②宇津木敦・暖大(中) ③皆川亜紀・小次郎(同)

【高学年】

- ①伊藤和弘・唯(萩生) ②鈴木純也・琉生(同) ③寒河江秀憲・俊介(高峰)

▽回転

【中学男子】①宇津木拓海(中)

- ②伊藤政也(高峰)

【青年男子】①黒澤悠(萩生)

【成年1部】

- ①長岡幸希(中) ②長岡秀幸(同) ③國分充(萩生)

【成年2部】①国分剛(萩生)

- ②鈴木純也(同)

【成年3部】

- ①佐藤利浩(手ノ子) ②熊野昌昭(同) ③伊藤憲之(同)

【中学女子】①国分ちづる(萩生)

【少年女子】①伊藤理沙(高峰)

【成年女子】①渡部由美子(中)

- ②島貫絵里(萩生)

◆第22回しんくみ理事長杯争奪

ママさんフットサル大会

【優勝】

わかくさサッカースポーツ少年団ママさんフットサルチーム

◆山形県木炭品評会

【優秀賞】 渡部岩次(萩生)

【優良賞】 樋口勝典(萩生)

◆山形県写真展

【無鑑査】 横山哲夫(小白川)

【入選】 島貫一郎(萩生)、山口吉右衛門(宇津沢)

◆山形県スポーツ少年団表彰

【優良団】 飯豊柔道スポーツ少年団



直伝おふくろの味



食感が心地よい栄養豊富なマメ料理 カリカリみそ豆

【材料】

◇大豆	2カップ
◇小麦粉	少々
◇砂糖	大さじ4杯
◇みそ	40〜50g
◇グラニュー糖	40〜50g

【作り方】

- ①大豆をよく水洗いして、一晚水に浸す。
- ②①をザルに移して20分ほど水切りをする。
- ③バットに②を広げて、小麦粉を振ってまぶす。
- ④フライパンにマメが隠れる量の油を入れ、170度にする。③を半分入れて、弱火で25分〜30分ほどかけてカリカリになるまでゆつくり揚げる。もう半分も同じように揚げる。
- ⑤鍋に砂糖とみそを入れ、混ぜながら弱火で溶かす。油を切った④を鍋に入れて混ぜ合わせる。
- ⑥ボールに⑤を入れてグラニュー糖をパラパラと入れながら冷まして出来上がり。



使う大豆を変えると、味も見た目も変わります。
紅大豆、黒大豆、青大豆など

長期保存が効く豆で、冬もしっかり栄養を



椿地区
食生活改善推進員
小川トシ子さん

わが家では、食生活改善推進員連絡協議会で学んだ「バランスの良い食事『まごはやさしい』」の食材を積極的に食卓に出すようにしています。

この料理の特徴であるカリカリ感を出すためには、弱火でじっくり揚げるのが大切です。急ぐあまり、油の温度を高くするとマメが焦げ臭くなってしまう。

また、表面に粗目を出すために、⑥のように、大豆をボールなどの別の容器に移してから、グラニュー糖を混ぜ合わせてください。

材料も調味料も少なく、手軽にできる料理です。

バランスの良い食事

- ⑤ マメ
- ⑥ ゴマ
- ⑦ ワカメ（海藻類）
- ⑧ 野菜
- ⑨ 魚
- ⑩ シイタケ（キノコ類）
- ⑪ 芋類



こどもみらい館の予定表
(3月・4月の日程)

- 3月16日(土) 10:30～ 5万人達成感謝の集い
21日(木) 10:30～ かんがる一広場
22日(金) 10:30～ 栄養士さんの指導
4月10日(水) 10:30～ おはなし広場
17日(水) 10:30～ 避難訓練・あそびの広場

利用者5万人達成 感謝の集い

3月16日(土) 10:30～こどもみらい館



2月13日、こどもみらい館の利用者数が、延べ5万人になりました。お話を聞いたり、歌ったり、軽食をとりながらお祝します。

episode

子育て応援
kosodate
ouendan 談

持たせた愛情、受け取った感謝 「弁当は心と体の栄養」

「お弁当も終わったね。今までありがとう」。高校3年生の娘が何気なくつぶやいた。不意を突かれた私は、そんなふうに言ってくれた娘の成長に感動し、何も答えることができなかった。小さいころは、見栄えや栄養などを考えながら詰めていたお弁当も、高校生になってからは、日常の慌ただしさに紛れて、冷凍食品や出来合いのおかずにだいたいお助けしてもらった。考えればお弁当はたくさんの思い出と一緒にあった。遠足や部活、大会など大切な出来事には必ずお弁当を持たせていた。親としては当たり前で、ちょっと面倒なお弁当づくりが、娘には楽しみであり、体にも心にも栄養であったのだと改めて感じた。今更ながら、もっとおいしいお弁当にしてあげればよかったと反省した。「今まで残さず食べてくれてありがとう」。

●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日
利用時間/8:30～12:00、13:00～17:00



今月の おすすめ図書



児童図書

あいうえおのせきがえ

宮下すずか/作 いとうのぶや/絵
くもん出版

ひらがなの表から抜け出して遊ぶ文字たちが、ふだんの「あいうえお」順とは違う並び方をしたいと、「せきがえ」をはじめ…。ことばへの関心を高める、楽しいおはなしです。



児童図書

どどのろう

穂高順也/作 こばやしゆかこ/絵
岩崎書店

昔々、願い事を3つだけ叶えてくれるという「どどのろう」という名の泥の人形があった。それを手にした悪党2人は、人々からお金をだまし取るため、恐ろしい顔の化け物にしてもらうが…。



一般図書

沈黙の町で

奥田英朗/著 朝日新聞出版

男子中学生が部室の屋上から転落死した。事故か自殺か、それとも…。被害者家族、加害者とされる少年たちとその親、学校、警察までも巻き込んで、それぞれの感情と思惑が錯綜する。



一般図書

よくわかる0～5歳児の 絵本読み聞かせ

徳永満理/著 チャイルド本社

どんな本を選べばいいの？どうすればうまく読めるようになるの？子どもが絵本を好きになる、読み聞かせのコツやポイントを、0～5歳の年齢別にわかりやすく紹介する。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜日・祝日
- 問合せ先 町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ようこそ！ わたしたちの倶楽部に

スポーツ、音楽、芸術、史話、ボランティアなど町内には活動団体がたくさんあります。このコーナーでは、そんな皆さんの活動を紹介していきます。



サクソホン (通称：サククス)

バンクシアサククス四重奏団

- ◆代表 / 渡部寛之さん(萩生)
- ◆団員 / 4名(町内2、米沢市1、山形市1)
- ◆練習日 / 団員の都合に合わせて毎週1回
- ◆練習場所 / 町民総合センター「あ～す」
- ◆クラブのピーアール

バンクシアサククス四重奏団は、その名の通

り、メンバー4人のサククス演奏団体。音域の異なるソプラノ、アルト、テナー、バリトンサククスを用いて演奏しています。中学時代からサククスを始め、キャリアは20年前後。米沢の音楽団体で知り合い、平成20年に同団体を結成しました。全日本アンサンブルコンテストでの上位入賞をめざして毎週練習しています。コンテスト以外に、出演依頼を受けて、町内外の福祉施設やレストラン、音楽祭などでも演奏しています。

「4つの音が1つになるのも、この4人だからこそ。重視するのは、テクニクより、自分たちの音で曲を表現すること」と渡部代表は話します。



渡部さんにとって
サククスとは…

**無限の可能性を持った
自己表現!**

渡部寛之さん

「飯豊町は子育て支援は県内トップ水準です。考えられるあらゆることをしています。若者に魅力ある住宅地造成も加速させます。しかし、それでも人口は減るのです。仕事が

首相や県知事の日程が新聞に載っている。分刻みのことが多い。時折り、夜は居酒屋で食事などの記事があると、そうかやっぱ人間みな同じだと妙に感心したりする。飯豊町でも、予算編成から三月議会までの課程はかなり忙しい。千単位の款項目に目を通し議論する。その間に一般質問への答弁、施政方針、総括質疑への答弁書を書く。油断すると課題の羅列になりがちである。町の課題が毎年変わることはないのだからやむを得ないものの、現実を直視し、成果と反省、最前線の動きを織り込んで述べなければ説得力がない。そして議会本会議。準備に精力を使い果たしましたでは通用しない。本会議が本番である。

「なぜ人口減少が止まらないのか」との鋭い質問に、思わず本音が出てしまった。

「飯豊町は子育て支援は県内トップ水準です。考えられるあらゆることをしています。若者に魅力ある住宅地造成も加速させます。しかし、それでも人口は減るのです。仕事が

「なぜ人口減少が止まらないのか」との鋭い質問に、思わず本音が出てしまった。男も女もむしろつらいことが多い。厳しい世間の荒波を共に手をたずさえ、子供を背負いながら越えて行く、それが人生だ。ただ、「苦労かけたね」と労い合い見つめ合うジ・エンドが欲しい。

ない、結婚相手がいらない、それは結果であって真の理由ではありません。人口減少の本当の理由は何か。厳しい村の現状と親が体験した苦労、この苦労を子供たちに味わわせたくないという親心。子供たちに自由に羽ばたかせたい、楽をさせたいという親心です。親と一緒に苦労してくれ、この土地で暮らしてくれと子供たちに熱く語りかけているのでしょうか。そのことが足りないのではないですか！」

「男もつらいよ」

連載
随想
町長の思つて歩き

44

後藤 幸平

健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。

今月のテーマ ・運動
 ・足のトラブル



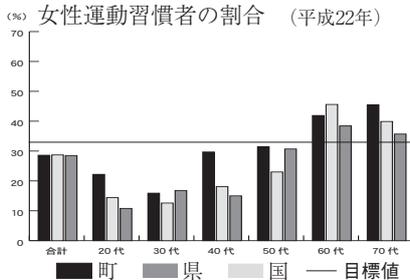
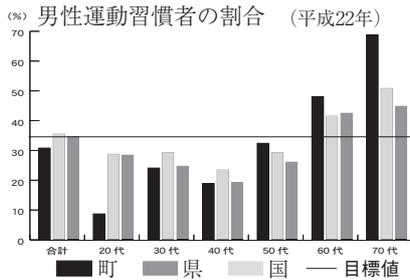
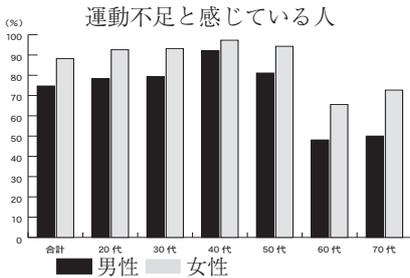
若い年代ほど運動不足

町では、2月に健康と生活習慣に関するアンケートを実施しました。このアンケートの中で、60歳代70歳代よりも、20歳代から50歳代の若い世代で運動不足と感じていることがわかります。

更に、運動習慣のある人は20歳代男性が一番低く、若い年代ほど運動を実践できておらず、運動習慣がある人は、年代が高くなるほど多くなっているようです。

運動不足病

現代は、生活が便利になったがゆえに運動不足になっています。運動不足が引き起こすとされている病気は、肥満、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、うつ病、認知症など



があります。運動不足はありとあらゆる病気の原因になるのです。

積極的に生活の中に運動を取り入れることにより、病気を予防したり、老化を遅らせたりすることができます。人間の体は、使わなければ器官は退化します。歩かなければ足の骨量や筋肉が減り、痩せ衰えてきます。呼吸器や内臓も、記憶力や判断力などの脳の働きも同じことです。日常生活の中で積極的に体を動かすことは、健やかに暮らし続けるために欠かせません。町では、平成24年度より運動教室の開催を、「いいでスポーツクラブキラ☆」に委託しながら、町民の方が気軽に取り組める運動の機会を提供しています。健康を維持するために、ぜひ地区公民館などで実施している運動教室に参加してみてください。

足から健康に

私たちの体を支える「足」。足の裏は全体重を支え、爪は体のバランスをとるのに重要です。

特に高齢者の足のトラブル（かきつき、むくみ、爪の変色、巻爪など）は、痛みを伴うと筋力低下や転倒を引き起こすことがありますので、しっかりケアを行いましょ。

◆ステップ1「洗う」

毎日入浴して清潔に保つことが一番です。血流もよくなりリラックスできます。お風呂に入れない日は、バケツや洗面器に足首がかかるくらいのお湯を張り、5分間程度足浴をしましょう。

◆ステップ2「切る」

深爪や巻爪にならないように切り方のポイントをおさえます。①爪の白い部分がおさえます。②爪の白い部分が1ミリくらい残るように切る。

②足の指の形の通り切る。横を丸く切ると巻爪の原因になります。

◆ステップ3「いたわる」

マッサージをして血液やリンパの流れをよくしましょう。①足の指先から膝まで軽く力を入れてゆっくりなで上げ、次に、膝の裏から足首の方にゆっくりなで下ろします。②足首を右、左に回します。

飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

食と農のドキュメンタリー 上映会

食と農にかかわる有志で上映会を行います。

◆日時／3月31日(日) ①10:00②15:00

◆場所／長井市置賜生涯学習プラザ

◆上映作品／それでも種をまく(24分)、
モンサントの不自然な食べもの(108分)

◆入場料／一般前売1,000円、一般当日1,200円。高校生500円。中学生以下無料

◆その他／野菜や花などの種の交換会も開催。12:30～14:50

◆チケット取扱い／八文字屋長井店、
やまがたタス物産館

◆問合せ先／ぼたじえ・嶋貫☎72-3915、
ribon食と農をつなぐネットワーク・菅野☎090-9636-0360
<http://okitamaribon.blog.fc2.com/>

無料登記相談会

4月1日の「表示登記の日」を記念して無料相談会を開催します。予約は不要です。

◆日時／4月11日(木) 10:00～12:00

◆場所／町民総合センター「あ～す」

◆相談内容／土地建物の登記について

◆問合せ先／山形県土地家屋調査士会
☎023-632-0842

NTT東日本の電話帳回収にご協力をお願いします

NTT東日本では4月中に、新しい山形県版の電話帳を各家庭や事業所にお届けします。その際に、現在お使いの電話帳を回収しますので、配達員にお渡しください。ご不在の場合は、後日改めて回収に伺いますので、ご連絡ください。

◆問合せ先／タウンページセンター

☎0120-506-309(平日9:00～17:00)

緑のあるまちづくり活動を 支援します

◆支援対象活動の主要件

- 多くの地域住民が参加すること
- 地域住民の連帯が強まり、地域活性化につながる
- 支援終了後も、地域や住民で維持管理ができること

◆支援対象事業

◇緑化推進事業

- 対象となる活動／地域住民やNPO法人らが創意工夫し、緑のあるまちづくりや草花の維持管理、普及啓発・環境教育の推進などを行う活動

◇緑のまちづくり支援モデル事業

- 対象となる活動／地域からの提案を基に、当財団と共に里山や荒廃地を魅力ある場所にするための活動

◆応募できる団体／地域団体、NPO法人、ボランティア団体など

◆助成額／上限10万円～100万円

活動内容によって異なる

◆募集締切／3月21日(木)

◆申込・問合せ先

励山形県みどり推進機構

☎023-688-6633

障がい者なんでも相談室

障がい者の生活全般にわたる悩み事や困りごとについてご相談ください。

◆対象／体や精神に障がいのある方、
そのご家族、関係者

◆相談方法／電話、FAX、面接など
※面接相談の場合は予約が必要です

◆受付時間／平日8:30～17:00

◆相談料／無料(通話料金は有料)

◆問合せ先

社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会

☎・FAX兼用023-687-5333

町観光協会臨時職員などの 募集

◆募集職種と人数

- 一般事務員(臨時2名※ハローワークの紹介状が必要)
- 駅業務員(嘱託1名)

◆賃金／当協会規定による

◆対象者／年齢不問、普通免許取得者

◆期間／4月1日～平成26年3月31日

◆勤務時間／週休2日

(当協会シフト表による)

◆待遇／社会保険と厚生年金加入

◆応募締切／3月22日(金) 17:00まで

◆選考方法／書類選考と面接

◆応募・問合せ先

飯豊町観光協会☎86-2411

国家公務員

「国税専門官採用試験」

仙台国税局は税務職員を募集します。

◆第一次試験日／6月9日(日)

◆受験資格

◇昭和58年4月2日から平成4年4月1日生まれの方

◇平成4年4月2日以降生まれの方で次に掲げる方

○平成26年3月までに大学を卒業する見込みの方

○人事院が上記に掲げる方と同等の資格があると認める方

◆受験申込方法・期間

◇原則インターネットによる申し込み
○4月1日(月) 9:00～11日(木)

<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

◇郵送・持参申込

○4月1日(月)～2日(火) 9:00～17:00

○仙台国税局へ持参または郵送

※郵送の場合は、通信日付印有効

仙台国税局人事第二課試験研修係

☎022-263-1111内線3236

こせきのまど
戸籍の窓

(2月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
椿 木村 朋 弥さん 米沢市 石川 遥 さん	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
黒沢 渡 辺 陽 太くん	(清ゆり 隆り)	
萩生 島 貫 琉 冬くん	(嘉杏 郎子)	
椿 伊 藤 夢 華ちゃん	(巧美 久美子)	
萩生 佐 藤 伶 音くん	(大沙 観香)	
添川 横 澤 堯 彦くん	(俊寧 彦子)	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
萩生 石原 船 山 正 三さん		89
添川 上町 小 池 新 吉さん		71
椿 坂下 伊 藤 しけのさん		86
手ノ子 向原 北 梅 津 ヨ シさん		90
添川 東山 佐 原 志 げさん		86
中 酒町 鈴 木 ま ささん		101
萩生 中ノ舘 高 橋 喜久子さん		83
萩生 中ノ舘 島 貫 美 智さん		82
添川 下町 小 松 隆 義さん		80
黒沢 吉長 佐 藤 昭 子さん		85
手ノ子 向原 松 山 壽 子さん		83

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		2月分 () 内は対前月比		
世帯数	2,402 (1)	転入	6	
人	男	3,883 (6)	転出	0
	女	4,116 (-8)	出生	5
口	計	7,999 (-2)	死亡	13

千代田クリーンセンター
再生品の提供について

千代田クリーンセンター「くりえいと工房」は、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、置賜在住の方に無償で提供します。

- ◆提供品／自転車10台・家具類5点 (1回開催あたりの予定数)
- ◆応募方法／備え付けの申込用紙による
- ◆受付日時／日曜・祝日を除く 9:00~16:00

- 【第1回 4・5月期】
- ◇展示期間／4月3日(水)~5月4日(土)
- ◇公開抽選／5月14日(火) 10:00~
- ◇引取期限／5月25日(土)
- 【第2回 6・7月期】
- ◇展示期間／6月5日(水)~7月6日(土)
- ◇公開抽選／7月9日(火) 10:00~
- ◇引取期限／7月20日(土)

- 【第3回 8・9月期】
- ◇展示期間／8月1日(水)~31日(土)
- ◇公開抽選／9月3日(火) 10:00~
- ◇引取期限／9月14日(土)
- 【第4回 10・11・12月期】
- ◇展示期間／10月16日(水)~11月30日(土)
- ◇公開抽選／12月3日(火) 10:00~
- ◇引取期限／12月14日(土)

- ◆留意点
- ①1回の展示で1世帯につき自転車・家具それぞれ1つまでの申し込みです。複数申込があった場合は無効です
- ②1点に複数申込の場合は抽選です
- ③応募には運転免許証などの身分証明書が必要です
- ④自転車または家具に当選された世帯は、同年度内の次回展示から、当選提供品類に応募できません
- ◆申込・問合せ先／千代田クリーンセンター施設第2係 ☎0238-57-4004

町営住宅施設の管理人を募集します

- ◆職種／町営住宅施設管理人 (町営住宅3団地・いいでハイツ)
- ◆業務／施設巡視、施設維持管理 (簡易修繕・清掃・草刈・除雪など)、各種届出受付 (書類交付および説明)、各種相談受付などの業務
- ◆募集人数／1名
- ◆勤務条件
- 賃金／町の規定による
- 期間／4月1日~平成26年3月31日
- 勤務日／週3日 (月・水・金曜日) および隔週日曜日 (第2・第4日曜日)
- 勤務時間／午前8時から午後12時までの4時間 (ただし作業内容によっては午後の勤務を要する)
- 休日／勤務日以外の平日、土曜日、隔週日曜日、祝祭日、年末年始
- その他／社会保険・雇用保険なし
- ◆応募資格
- 普通自動車運転免許を有していること
- 草刈機や除雪機などの機械を操作できること
- 性別・住所は問いません
- 職員と同様に業務上知り得た情報の秘密保持や公正公平な事務執行を行うことができること
- ※施設管理経験者を優遇します
- ◆申込方法／下記問合せ先で交付する申込用紙に必要事項を記載して提出
- ◆申込期間／3月18日(月)~22日(金)の8:30~17:15まで
- ※20日(水:祝)を除く
- ◆決定方法／申込書による書類選考の上、必要に応じ面接を行い、雇用通知書を送付します
- ◆申込・問合せ先／役場地域整備課建設室 ☎72-2111内線157

◇今年の冬は、ずいぶん雪が降りました。多くの方が、連日の雪片付けに大忙しだったと思います。そんな中、町内では雪を使った楽しい企画や事業がたくさん行われました。33回目となる「中津川雪祭り」、今年初開催の「スノー・スマイル」、台湾人も訪れる「どんでん平スノーパーク」、団体客がしつかり定着した飯豊少年自然の家の「わくわくスノーランド」など。

スタッフや事務局の方々は、自宅の除雪を気にしながらも時間を調整し、会場を整え参加者を迎えています。その姿勢に敬意を表さずにはいられません。(かつみ)



文化財は、郷土の歴史、民俗、信仰、自然を物語る町の宝。継承し守り続けている人たちがいるから輝く価値がある。



写真／壇上は平坦で、真上から見ると縦横8.4mの方形をしている

Treasures in Iide Town

30

selection

中村原土壇

昭和30年度山形県指定文化財（史跡）指定

Interview

守り続ける人たち



土地所有者

鈴木 富雄さん
(中)

美しく整った方形土壇

私が子どものころの中村原土壇周りは、雑木やカヤが繁殖していました。時期になると地域の方が屋根のふき替え用などに使うカヤを刈りに来ていたことを記憶しています。昭和43年から49年にかけて行われた土地改良によって周囲が開田され、現在のような景観になりました。

町内には5つの県指定文化財があり、中村原土壇はその内の一つです。土壇については、文献や言い伝えなどが少なく、分かっていることはほんのわずかですが、毎年6月と8月に草刈りをして県指定文化財として恥ずかしくないように管理をしています。草刈りを終わると現れる土段の整然とした正方形の姿から、神秘的な尊さを感じます。

解説

中村原土壇

西置賜地方には土壇と呼ばれる塚が多い。古墳や経塚、墳墓などと異なり、民間信仰とのかかわりが考えられるが、その性格は明確ではない。

町内にある「中村原土壇」は、中村観音堂の東南方にあり、もと「山王原」と呼ばれる松林の中に4基あったといわれている。開田により1基だけが形を留めている。各辺とも8.4m、高さ1.7mの方形で壇上は平坦になっており周濠をめぐらしている。方形の対角線の一つは磁北を指し、また中軸線の延長線上に中村観音堂がある。中世に盛んだった修験道の祈禱壇であったと考えられる。

昭和30年8月、山形県指定史跡に指定された。